

## 開会行事記録

司会者 定刻がきましたので、ただ今より部落解放学習会中学生集会の開会行事を行いたいと思います。本日の全体の司会を担当させていただきます、上板中学校三年のNです。吉野中学校二年のMです。よろしく願います。

それではまず、開会の言葉を、本大会副実行委員長の大麻中学校三年Fくんにお願います。

宣言者 ただ今より、第二回部落解放徳島県学習会中学生集会をWithともに燃やそう解放の炎のメインスローガンのもと開催いたします。

司会者 開会の言葉に続いて、私たちの原点とも言うべき「水平社宣言」の朗読を行いたいと思います。資料の見開きをお開きください。参会者の皆さんはご起立のほどお願いします。なお代表して朗読の指揮をしていただくのは、板野中学校三年のK君です。参会のみなさんも、どうぞごいっしょに朗読してください。

朗読者 《「水平社宣言」朗読》

司会者 ありがとうございます。起立のまま、引き続き

て「友よ」と「解放中学生の歌」を合唱したいと思えます。指揮は板野中学校二年のSくんです。よろしく願います。

知らない人がたくさんいると思いますので、知っている人で、リードしていきたいと思えます。知っている人は、すいませんが前に出てきてください。ご協力よろしく願います。それでは、しっかりした声で唱いましょう！

《「友よ」「解放中学生の歌」合唱》

司会者 続いて本会実行委員長、板野中学校H君より開会のあいさつをいたします。よろしく願います。

委員長 みなさんおはようございます。今日はこうやって大勢の仲間や先生方が集まってくださってありがとうございます。みなさんがこうやって集まったのは、今の自分や被差別体験などを語り、部落差別をなくすという目的を持ってこうして集まりました。今日は僕のことをみんなに知ってもらうためにがんばりたいです。今の自分を思いっきり語っていくし、みんな悔いの残らないように、みんなにも語ってほしいと思います。去年の第一回では自分自身納得できていなかったもので、第二回はとて

も楽しみでした。だから第三回もやってほしいです。それそれ学校の状況は違ふと思いますが、「With」ともに燃やそう解放の炎」のスローガンのもと、今日一日がんばりましょう。

司会者 続きまして、運営委員会を代表し、部落解放同盟徳島県連合会の方よりあいさつの言葉を頂戴したいと思います。

運営委員 みなさんおはようございます。今日は県連の副委員長もおみえになっておりますけれども、運営委員会の代表ということで、部落解放同盟の教育対策部を担当しております、関口からごあいさつさせていただきます。

徳島県学習会中学生集会は第二回目であると聞いております。去年は板野郡を中心に二十数校の中学生が集まられて会をもたれたそうです。本日は、二十一校におよぶ県下各地から学習会で学ぶ中学生が参加されて、またそれにとまなう学校の先生が引率で来られて、非常に意義深い集会をもたれたことに対して敬意を表する次第であります。

まず、同和対象地域の学習会がなぜできるようになったのか。それはみなさんのお父さんお母さん、さらには

おじいさんおばあさんの願いはただ一つでした。それは、部落差別によって命を落としたり、また差別に負けて非行に走ったりすることなく、差別に負けない、差別を許さない強い子どもに育ってほしいという強い願いから、一九七三年同和地区学習会というものが催された記憶しております。ですから、学習会においていろんな知識を身につけ、またいろんな技術を身につけてですね、社会に出たときのために生きる力を養ってほしいのです。人間が人間らしく生きるとはどんなことでしょうか。また部落解放ということとはどんなことでしょうか。

それらの事を追求するためには、高校なり大学に行ってしっかりと勉強する必要があると思います。しかし、残念ながら現在でも自分の希望する高校なり大学へ多くの方が進めていないという現状が残っております。また大学に至っては、進学率にしても、二〇%以上の地区外との格差が存在しております。みなさんが大学に行かれるときは、そんな格差がないように努力されることを期待しております。そういう意味において、もう一度学習会の意義なり目的をしっかりと勉強して、本日の集会で「本当に部落差別ってあるんだろうか」「あるのか、な

いのか」「あるとすれば、どんなことが部落差別なのか」また、「その部落差別はどうしたらなくなるだろうか」

「なくすことができるだろうか」また、「どうしたらみんなに分かつてもらえるのだろうか」そういう中で、

「中学生としてできることはどんなことがあるだろうか」そういうふうなことを基本に、今日一日の交流で意見交換をして、それを今日参加できておられない地区の学習会の仲間、またクラス、学校、それぞれに持ち帰ってみ

なで話し合いながら、差別のない明るい学校づくりができるように、今日の会を有意義なものにしてほしいと期待しております。また多くの参加されている先生方にも、今尚きびしい差別事情・事件が多く発生しておるといふ現実を深く受けとめられまして、このきびしい現状の中で子どもたちの進路保障をいかに勝ち取っていくのかということが、先生は先生として考えてほしいという願いがございます。そういう中で特別措置法も五年間は延長になりましたけども、四十五事業から十五事業と縮小になり、さらには一般対策に移行という形で、昨日も阿南市で教育長交渉をしましたけども、「市の同和奨学資金制度を打ち切ったかどうか」というような意見も出てく

るような状況になっています。このことは阿南市のみならず、各市町村にそんな意見が波及していくという危険性も含まれておることを十分に理解していただきまして、あらゆる機会を捕らえて「進路保障とは何か」をもう一度先生としての原点に立ち返ってですね、勉強されて、学校でどういうふうにと同和教育が位置づけられて、部落の子が胸を張って学習会に参加できる状況をつくって頂ければと願っております。

そういうことで非常に簡単でございますけども、運営委員会の代表としてのごあいさつに代えさせていただきます。今日は一日がんばってください。

司会者 ありがとうございます。続きまして、徳島県教育委員会の方より激励のあいさつを頂戴いたします。

県教委 おはようございます。本来ならば安藝教育長が参りましてごあいさつすべきところなんですけども、本日に所用がございます。こちらに参加することができません。私、教育次長の倉本と申しますけども、教育長の方からみなさま方よろしくということでもメッセージを預かっておりますので、それを代読させていただきます。部落解放第二回徳島県学習会中学生集会在開催される

にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。みなさま方が、各学校や学習会において同和問題の解決に向けリーダーとして活躍されていることに対しまして、心より敬意と声援をお送りいたします。一日も早い同和問題の解決は私たちの共通の願いであり、徳島県教育委員会といたしましても同和問題の早期解決を目指して取り組んでいるところであります。

さて、学習会は、長年にわたる多くの人々の熱意により、昭和四十八年に学力の向上と同和問題解決に積極的に取り組む力を養うことを目的に制度化され実施されて参りました。この間地域の人人や関係諸機関、諸団体の支えと教職員の努力によって多くの困難を克服しながら学習会を継続し、成果を上げてきたところです。今後さらに学習会の充実を図るためには、県内の学校すべての教職員、保護者や児童生徒が学習会の意義や目的を常に確かめながらともに手をたずさえて歩むことが大切であります。とりわけ学習会に参加するみなさんが、差別を見抜き、差別と闘い、差別をなくしていこうとする意欲と実践力を持つことが重要であります。本日の集会はそのそれぞれの地域や学校での実践や思いを交流しあい、仲間

意識を深め、主体的に同和問題解決に向けて取り組む意欲を育むことを目的に開催され、誠に意義あるものであります。参会のみなさんが本集会の成果を各学校や地域に持ち帰り、同和問題解決に向けて取り組むリーダーとして今後ますます活躍されることを期待しております。

最後になりましたが、本日の集会のご成功を祈念いたしますと共に、本会を開催するにあたりご支援ご指導いただきました関係者のみなさま方の熱意に敬意と感謝の意を表しごあいさついたします。平成九年八月七日、徳島県教育長安藝武、代読。以上でございます。

司会者 ありがとうございます。その他にも徳島県同和教育協議会からも激励にかけつけてくださっています。

それでは開会行事閉会の言葉を同じくF君お願いします。宣言者 これをもちまして、第二回部落解放徳島県学習会中学生集会開会行事を終了します。

司会者 それではこれより集会行事に移りたいと思いが、日程などの事務連絡について、石井中学校のK君より申しあげますので、今しばらくお静かにお願いします。連絡者 石井中学校のKです。この後さっそく全体会を始めますが、十時二十分から十二時まで全体会を本会場で

行い、一時間の昼食休憩の後、十三時から十四時四十分まで六つの分散会場に移動し分散会を行っていただきたいと思えます。その後、二十分間の休息をとって、十五時から総括、引き続いて十五時二十分から閉会行事にうつり、終了時刻は十五時四十分を目安に進めていきたいと思えます。

なお、ゴミなどについては各自で責任を持って処理するようお願いいたします。

司会者 それでは全体会の準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。